

転職サービス「DODA (デューダ)」調べ

## 2015年12月 転職求人倍率 1.21倍

求人数は13カ月連続で過去最高値を更新 4月に向けた採用活動が活発化

株式会社インテリジェンス（本社：東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員：高橋広敏）が運営する転職サービス「DODA (デューダ)」<<http://doda.jp/>>は、2015年12月の転職求人倍率をまとめた「DODA 転職求人倍率レポート」を発表しましたのでお知らせします。

※転職求人倍率は、ホワイトカラー層を中心とした転職マーケットにおける需給バランスを表すもので、DODA 転職支援サービス登録者（転職希望者）1名に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した数値です。<算出式：転職求人倍率＝求人数（採用予定人員）÷転職希望者数>

### ■ 2015年12月の概況

2015年12月の転職求人倍率は、前月より0.04ポイント増の1.21倍。求人数は前月比+3.8%、転職希望者数は同+0.4%でした。求人数は13カ月連続で調査開始（2008年1月）以来の最高値を更新しました。

業種別では、9業種中8業種で求人数が増加。求人数が特に伸びたのは「小売/外食」（前月比+8.6%）、「メーカー」（同+4.9%）でした。「メーカー」では、電機メーカーが、自動車関連や医療などの新しい分野への事業投資を積極化させているため、求人数が増加しています。

職種別では、11職種中10職種で求人数が増加。求人数が特に伸びたのは、「技術系（建築/土木）」（同+7.7%）、「営業系」（同+5.8%）でした。「技術系（建築/土木）」では、東京オリンピック関連の工事需要やリフォーム需要が伸びているため、施工管理、設計・デザインの求人数が増加しました。

### ■ 解説 ～新規求人数が1年で最も多かった12月、転職求人倍率は上昇～

2015年12月は、2016年4月入社に向けて採用活動を始めた企業が多く、求人数は増加しました。12月の新規求人数（当月に募集を開始した求人）は前月比118.1%で、2015年で最多でした。転職希望者数は例年12月に減少する傾向にありますが、2015年は11月の水準を維持しました。それでも、求人数の増加幅が転職希望者数を上回ったため、求人倍率は上昇し、転職希望者にとって優位な状況となりました。

1月以降も求人数は増加し続ける見込みです。来年度の組織に必要な人員を4月までに確保したいと考える企業が多く、また転職希望者も年明けから動き出すため、転職市場は1～2月が最大のヤマ場となるでしょう。（DODA 編集長 木下学）

■業種別 転職求人倍率

業種	2015年12月 求人倍率	前月比	前年 同月比
全体	1.21	0.04	-0.08
IT/通信	2.67	0.16	-0.07
メディア	1.00	-0.03	-0.01
金融	0.75	0.00	-0.09
メディカル	1.49	-0.01	-0.47
メーカー	0.75	0.04	-0.06
商社/流通	0.34	0.00	-0.07
小売/外食	0.49	0.04	-0.08
サービス	1.52	0.04	-0.01
その他	0.88	0.05	0.23

■職種別 転職求人倍率

職種	2015年12月 求人倍率	前月比	前年 同月比
全体	1.21	0.04	-0.08
営業系	1.06	0.05	0.02
企画・事務系	0.77	0.02	-0.11
技術系（IT/通信）	3.19	0.21	0.03
技術系（電気/機械）	2.02	0.00	-0.07
技術系（メディカル）	1.88	-0.07	-0.38
技術系（化学/食品）	0.45	0.01	-0.04
技術系（建築/土木）	2.26	0.11	-0.05
専門職	1.84	0.06	-0.47
クリエイティブ系	1.24	0.01	-0.24
販売/サービス系	0.70	0.02	0.07
事務・アシスタント系	0.12	0.00	-0.04

問い合わせ先

<http://www.inte.co.jp/contact/pr/>

## ■業種別 求人数増加率

業種	前月比	前年 同月比
全体	3.8%	44.8%
IT/通信	3.4%	33.4%
メディア	-1.9%	56.6%
金融	1.4%	33.8%
メディカル	0.6%	19.4%
メーカー	4.9%	38.9%
商社/流通	0.1%	33.5%
小売/外食	8.6%	37.8%
サービス	4.5%	65.0%
その他	8.5%	130.7%

## ■職種別 求人数増加率

職種	前月比	前年 同月比
全体	3.8%	44.8%
営業系	5.8%	59.4%
企画・事務系	3.5%	43.4%
技術系 (IT/通信)	4.7%	41.7%
技術系 (電気/電子/機械)	0.0%	43.4%
技術系 (メディカル)	1.2%	30.5%
技術系 (化学/食品)	4.0%	52.7%
技術系 (建築/土木)	7.7%	41.8%
専門職	4.6%	22.6%
クリエイティブ系	2.4%	33.6%
販売/サービス系	1.9%	62.4%
事務・アシスタント系	-5.0%	24.4%

※DODA サイトでご覧いただける「DODA 転職求人倍率レポート」では、詳細なデータや考察を掲載しております。

[http://doda.jp/guide/kyujin\\_bairitsu/042.html](http://doda.jp/guide/kyujin_bairitsu/042.html)

※調査は 2008 年より行っております。過去のデータをご覧になりたい場合は、広報室までお問い合わせください。

## ■2016 年上半期 転職市場予測 ～求人は緩やかに増加の見込み、最初のヤマ場は 1～3 月～

2016 年上半期（1 月～6 月）の転職市場は求人数が緩やかに増加し、転職希望者にとって有利な売り手市場が続く見込みです。マクロの経済指標の推移や中国経済の失速を危ぶむ声もありますが、転職市場に打撃を与えるような懸念材料は見当たりません。企業の求人ニーズは衰えず、転職市場は活況が続きます。転職市場は毎年 1 月から 3 月が最も活発な時期となり、1 年の最大のヤマ場になるでしょう。

2016 年入社の新卒採用活動は全般的に採用計画未達のまま終わり、その分、多くの企業が早々に第二新卒の中途採用に切り替えました。特に製造業のエンジニア、金融業界（リテール）、営業職、人事・経理、販売・サービス職は第二新卒の採用が例年以上に目立ち、2016 年の年明け以降もそのニーズは続きそうです。一方で、建築業界のエンジニアや営業職は、人手不足を背景に 30 代後半から 40 代の層にも転職成功のチャンスが広がりそうです。

企業は引き続き IT 投資に積極的で、商材や社内システムを Web 化して、ビッグデータやマーケティングの活用で成果を出そうとしています。IT 業界や広告業界は既にビジネスの主戦場が Web になっていますし、従来の基幹産業である製造（IoT）、金融（FinTech）、建築（BIM）などでもその進度に差はありますが IT 化・Web 化に動き出しています。業務でマーケティングや Web に少しでも携わった経験があれば、キャリアの付加価値となるでしょう。

※「転職市場予測 2016 上半期」は 1 月 4 日（月）に DODA サイトで公開いたしました。

11 の業職種ごとに詳細な解説を掲載しております。 <http://doda.jp/guide/market/>

## ■「DODA」について <<http://doda.jp/>>

「DODA」は、専任のキャリアコンサルタントによる転職支援サービス、インターネットサイト上での求人情報サービス、スカウトサービス、「DODA 転職フェア」に代表されるイベントサービスを中心に、転職や中途採用に関わる多様なサービスをワンブランドで展開しています。ブランドスローガン「いい転職が、未来を変える。」のもと、より多くの転職希望者、人材を採用する企業がともに成長し、より良い未来を切り開いていくことを目指し、人と組織の最適なマッチングを目指してまいります。